

【資料3】 分析結果：各「調整箇所」に見られた「待遇表現行為」（例文なし）

「調整箇所1 話し始め」に見られた「待遇表現行為」

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」
相互行為 : 電話が通話しているか確認し合う
待遇効果 : 会話の「場」を相互で確認することでやりとりが安定する
典型例：
「働きかけ主体」: 「もしもし」と通話しているか確認する
「行動主体」: 「もしもし」と通話しているのを確認する

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」
相互行為 : 相互に相手を確認しあう
待遇効果 : 会話における人間関係が調整される
典型例：
「働きかけ主体」: 「～さん？」と相手を確認する・「～ですけど」と名乗る
「行動主体」: 「はい」と了解する

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」
相互行為 : 挨拶し合う
待遇効果 : 相互に関係がつながる
典型例：
「働きかけ主体」: 挨拶する
「行動主体」: 挨拶する

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : 久しぶりに会うことを確認する
待遇効果 : 相互に関係がつながる
典型例：
「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」で相手と久しぶりに会ったことを表す
「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」と受け入れる

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : 「働きかけ主体」が「お世話になります」と常日頃の「行動主体」の

恩恵に感謝する

待遇効果 : 相互に関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「お世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する

「行動主体」: 「お世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する

・会話における「場」の安定に関わる表現行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動主体」が今話しても大丈夫な状況かどうか確認する

待遇効果 : 相手の状況が尊重される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「今大丈夫？」と相手の状況を確認する

「行動主体」: 「うん大丈夫」で自分の状況を保証する

「調整箇所2 意図の伝達・理解」に見られる「待遇表現行為」

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「あのね」と促しに移行することを示す

待遇効果 : 会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「あの」で働きかけを開始する

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「お願いがあるんだけど」と「働きかけ」を予告して容認し合う

待遇効果 : 会話の意図が明らかになり「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 働きかけを予告する

「行動主体」: 了解する

行為の開始 : 「行動主体」

相互行為 : 「行動主体」から「どうしたんですか」と「働きかけ」を促す

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

(「働きかけ主体」:「あの一」「えっと一」と言いよどむ)

「行動主体」:「どうしたの」と働きかけを促す

「働きかけ主体」:働きかけを始める

行為の開始 :「働きかけ主体」

相互行為 :「突然なんだけど」と「働きかけ」を低く評価する

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」:「突然である」「急ぎの用件ではない」「たいしたことではない」と
「働きかけ」を低く評価する

「行動主体」:受け入れる

・「行動前提の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始 :「働きかけ主体

相互行為 :「行動前提」について具体的に確認し、「当然性」を固める

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」:「行動前提」について情報確認する

「行動主体」:確認する

行為の開始 :「働きかけ主体」

相互行為 :「行動前提」として行動の必然、緊急性、必要性を確認し、「当然性」を高める

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」:「行動前提」としてその行動は必然である、緊急である、必要であると評価して伝える

「行動主体」:受け入れる

行為の開始 :「働きかけ主体」

相互行為 :すでに共有しているはずの「行動前提」を確認して「当然性」を固める

待遇効果 :「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」:お互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」:了解する

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「行動前提」としてある <u>自分の願望や意思、判断</u> を表すことで「当然性」を提示し、それが容認される
待遇効果	: 相手の願望、意志、判断が尊重される
典型例:	
	「働きかけ主体」: 「行動前提」として自分の願望や意思を表す
	「行動主体」: 受け入れる

・「行動の条件の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「行動条件」について <u>具体的な情報</u> を提供する
待遇効果	: 「行動」の負担が軽くなる
典型例:	
	「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について情報提供する
	「行動主体」: 了解する

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「行動条件」について <u>主観的な評価（負担が軽減されるような）を伴って情報を確認し合って</u> 「当然性」を固める
待遇効果	: 「行動」の負担が軽くなる
典型例:	
	「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について主観的な評価（大小、良い悪い等）を伴って情報提供する
	「行動主体」: 受け入れる

「調整箇所3 働きかけと否定的マーク」に見られる「待遇表現行為」

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

▲は非優先的応答を表しているため、否定的マークを意味する。働きかけに対して非優先的応答になっている場合、「隣接ペア崩し」となり、有標 (marked) =何か問題がある、ということになる。

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「働きかけ主体」が <u>明示的に働きかけて</u> 「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される → 「隣接ペア」成立により受諾になる → <u>「隣接ペア崩し」により否定的マークになる</u>
待遇効果	: 「働きかけ」の負担がかかる
典型例:	
● 「働きかけ主体」:	働きかける
「行動主体」:	受け入れる (受諾)
▲ 「働きかけ主体」:	働きかける
「行動主体」:	うーん (断り)

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「働きかけ主体」が「行動主体」の <u>「断り」を予測して先取り</u> 、容認されることで「当然性」の低さが示される
待遇効果	: 「働きかけ」の負担が軽減される
典型例:	
「働きかけ主体」:	「だめならだめだと言っていいから」と断りを先取る
「行動主体」:	了解する

「調整箇所4 働きかけ—受諾」に見られる「待遇表現行為」

・「働きかけと働きかけられ」に関わる相互行為

行為の開始	: 「働きかけ主体」
相互行為	: 「働きかけ主体」が <u>明示的に働きかけて</u> 「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される → 「隣接ペア」になると受諾
待遇効果	: 「働きかけ」の負担がかかる
典型例:	
● 「働きかけ主体」:	働きかける
「行動主体」:	受け入れる (受諾)

・「行動条件の伝達と理解」に関わる相互行為

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：これまで検討した「行動条件」に関する <u>具体的な情報を確認し合って</u> 「当然性」を確かめることで「行動主体」は受諾を表す
待遇効果	：「行動」の負担が軽くなる
典型例	：「働きかけ主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫？」と確認する
	「行動主体」：「大丈夫です」と受け入れる（受諾する）
	「行動主体」：これまで検討した「行動条件」について「それだったら大丈夫です」と了解する（受諾する）
	「働きかけ主体」：「ほんとに？」と受け入れる

「調整箇所4 働きかけと断り」に見られる「待遇表現行為」

行為の開始	：「働きかけ主体」
相互行為	：「働きかけ主体」が <u>明示的に働きかけて</u> 「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される →「隣接ペア」成立により受諾になる →「隣接ペア崩し」により断りになる
待遇効果	：「働きかけ」の負担がかかる
典型例	●「働きかけ主体」：働きかける 「行動主体」：受け入れる（受諾） ▲「働きかけ主体」：働きかける 「行動主体」：嫌だ、できない（断り）

「調整箇所5 説得」に見られる「待遇表現行為」

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : 「あのね」等と次に展開することを示す
待遇効果 : 会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される
典型例 :
「働きかけ主体」: 「あの」で働きかけを開始する

・「行動前提の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : 「行動前提」について具体的に確認し、「当然性」を固める
待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される
典型例 :
「働きかけ主体」: 「行動前提」について情報確認する
「行動主体」: 確認する

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : すでに共有しているはずの「行動前提」を引き出し、「当然性」を固める
待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される
典型例 :
「働きかけ主体」: 「行動主体」に相互に共有しているはずの「行動前提」を確認する
「行動主体」: 了解する

行為の開始 : 「働きかけ主体」
相互行為 : 「行動前提」にある自分の願望、意思、判断を表して「当然性」の高さを示し、それが容認される
待遇効果 : 相手の願望、意志、判断が尊重される
典型例 :
「働きかけ主体」: 「行動前提」として自分の願望や意思を表す
「行動主体」: 受け入れる

・「行動条件の伝達と理解」に関わる表現行為

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：「行動条件」について <u>具体的な情報を確認し合って</u> 「当然性」を固める
待遇効果	：「行動」の負担が軽くなる
典型例	： 「行動主体」：「行動条件」の中の一つの項目について情報提供する 「働きかけ主体」：受け入れる 「働きかけ主体」：「行動条件」について情報提供する 「行動主体」：受け入れる

行為の開始	：「働きかけ主体」
相互行為	：「 <u>行動主体</u> 」が出した「 <u>行動条件</u> 」を取り上げて新しい「 <u>行動条件</u> 」を提案し、了解されて、「当然性」が高まる
待遇効果	：相手の都合を尊重し、「行動」の負担が軽減する
典型例	： 「働きかけ主体」：「行動主体」が可能な「行動条件」を確認する 「行動主体」：「それなら大丈夫だと思う」とその条件下で了解する

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：「行動条件」について <u>主観的な評価、自分の考え、推測として情報を確認し合って</u> 「当然性」を固める
待遇効果	：「行動」の負担が軽くなる
典型例	： 「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つである「時間」について「2時間ぐらいで終わると思う」と考えを述べる 「行動主体」：受け入れる

行為の開始	：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為	：逆説得。「 <u>行動主体</u> 」が「 <u>働きかけ主体</u> 」に、自分で行動するように <u>勧めた</u> ところ、「行動主体」がそれに同意する。行動を働きかける「当然性」は下がる。
待遇効果	：「働きかけ」を止める負担が軽くなる
典型例	： 「働きかけ主体」：「行動主体」が「働きかけ主体」に、自分で行動するように勧める 「行動主体」：同意する

行為の開始	「働きかけ主体」
相互行為	「働きかけ主体」が「行動条件」の中の一つについて <u>代案がないことを示して確認する</u>
待遇効果	<u>相手の都合を尊重しないので「行動」の負担が重くなる</u>
典型例	「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示す 「行動主体」：了解する

・「働きかけ－働きかけられ」に関する相互行為

行為の開始	「働きかけ主体」
相互行為	<u>交渉の途中、交渉の後で、明示的に受諾の確認をし合う</u>
待遇効果	「働きかけ」の負担が軽減する
典型例	「行動主体」：「いいね」と受諾を促す 「働きかけ主体」：「いいよ」と受諾する

行為の開始	「働きかけ主体」
相互行為	「働きかけ主体」が「行動主体」の <u>「断り」を予測して先取り、容認されること</u> で「当然性」の低さが示される
待遇効果	断る負担が軽減する
典型例	「働きかけ主体」：「だめならだめだと言っていいから」と断りを先取る 「行動主体」：了解する

・「人のつながり」に関する相互行為

行為の開始	「行動主体」
相互行為	以前受けた行為について <u>御礼</u> を言って受け入れられる
待遇効果	相手と関係がつながる
典型例	「行動主体」：以前受けた行為について「ありがとう」と御礼を言う 「働きかけ主体」：「いえいえ」と受け入れる

「調整箇所6 交渉」に見られる「待遇表現行為」

・「やりとりの管理」に関わる相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為：「じゃ」、「じゃあ」等で次の行動の確認に入ることを確認し了解される
待遇効果：会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される
典型例： 「働きかけ主体」：「じゃあ」 「行動主体」：受け入れる

・「働きかけと働きかけられ」に関する「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為： <u>交渉の途中、交渉の後で、明示的に受諾の確認をし合う</u>
待遇効果：「働きかけ」の負担が軽減する
典型例： 「行動主体」：「いいね」と受諾を促す 「働きかけ主体」：「いいよ」と受諾する

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなことは <u>代わりに自分がすると申し出る</u>
待遇効果：「行動」の負担が軽くなる
優先的応答例： ● 「働きかけ主体」：「行動主体」が行動するとき実際に負担になりそうなことは 代わりに自分がすると申し出る 「行動主体」：「いいよ」と断る

※「しまじょうか」の「申し出」の優先的応答は「いいえ」になると考える。

・「前提条件の伝達と理解」に関わる「待遇表現行為」

行為の開始：「行動主体」
相互行為：「行動主体」から「働きかけ主体」に交渉を促す
待遇効果：相手の考えを尊重する
典型例： 「行動主体」：「どういうこと？」と情報要求する 「働きかけ主体」：「行動条件」に関する情報提供を始める

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「働きかけ主体」が「行動主体」の置かれている前提的状況を確認しあ
って「当然性」を固める
待遇効果：相手の状況を尊重する
典型例：
「働きかけ主体」：「忙しいよね」と「行動主体」の状況を確認する
「行動主体」：状況を保証する

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：すでに共有しているはずの「行動前提」を確認して「当然性」を固める
待遇効果：「働きかけ」の負担が軽くなる
典型例：
「働きかけ主体」：「行動主体」にお互いが共有しているはずの「行動前提」を確認す
る
「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「行動前提」としてある自分の願望、意思、判断を表すことで「当然
性」を提示し、それが容認される
待遇効果：気持ちを理解することで関係がつながる
典型例：
「働きかけ主体」：「行動前提」として自分の願望や意思を表す
「行動主体」：受け入れる

・「行動条件の伝達と理解」に関わる「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為：「行動条件」について具体的な情報を確認し合って「当然性」を固める
待遇効果：「行動」の負担が軽くなる
典型例：
「行動主体」：「行動条件」についての説明を促す
「働きかけ主体」：「行動条件」について説明し始める

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」の中の一つについて代案がないことを
示して確認する
待遇効果：相手の都合を尊重しないので「行動」の負担が重くなる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示す

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「行動条件」について自分の考え・意志を示して受け入れられる

待遇効果：「働きかけ主体」の考えが尊重される

典型例：

「行動主体」：「行動条件」について「～ほうがいいなあと思っていた」と自分の考えを示す

「働きかけ主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：「行動条件」について主観的な評価、自分の考え、推測として情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果：「行動」の負担が軽くなる

典型例：

「働きかけ主体」：「行動条件」の中の一つである「時間」について「2時間ぐらいで終わると思う」と考えを述べる

「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「行動主体」

相互行為：「行動主体」が出した「行動条件」を取り上げて新しい「行動条件」を提案し、了解されて、「当然性」が高まる

待遇効果：「行動主体」の主体性が尊重され、「行動」の負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：「行動主体」が出した「行動条件」を取り入れて新しい「行動条件」を提案する

「行動主体」：了解する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動主体」の動作には恩恵表現「てもらう」と使い、了解される

待遇効果：相手の行動により自分に返る恩恵を示す

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動

主体」の動作には「てもらおう」と恩恵を持って依頼する

「行動主体」 : 了解する

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、自分の動作は「させてもらおう」で許可を求め、了解される

待遇効果 : 相手の行動により自分に返る恩恵を示す

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動条件」について説明するときに、自分の動作には恩恵表現「させてもらおう」と使う

「行動主体」 : 了解する

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 「行動主体」が「行動条件」について助言し、了解される

待遇効果 : 上下の役割の意識化 + 「行動」の負担が軽減される

典型例 :

「行動主体」 : 助言する

「働きかけ主体」: 受け入れる

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動条件」について負担が軽く伝わるような主観的な評価を伴って情報を確認し合う

待遇効果 : 「行動」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について主観的な評価（大小、良い悪い等）を伴って情報供する

「行動主体」 : 受け入れる

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 謝罪して受け入れられる

待遇効果 : 相互の関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「働きかけ」でかけた負担について謝罪する

「行動主体」 : 受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：御礼をして受け入れられる
待遇効果：相互の関係がつながる
典型例：
「働きかけ主体」：「働きかけ」を受けてくれたことに御礼する
「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：「働きかけ主体」が会話の最後に「お願いします」と働きかけて、受け入れられる
待遇効果：「働きかけ主体」の主体性が尊重される
優先的応答例：
「働きかけ主体」：「お願いします」
「行動主体」：受け入れる

「調整箇所7 話し終え」に見られる「待遇表現行為」

・「相互の人間関係のつながり」に関する相互行為

行為の開始：「働きかけ主体」
相互行為：受諾された後、会話の後の両者のつながりを「よろしく」、「また連絡します」、「お願いします」などで示し、承諾される
待遇効果：相互の関係がつながる
典型例：
「働きかけ主体」：会話の後の展開を示す（「よろしく」など）
「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」
相互行為：謝罪して受け入れられる
待遇効果：相互の関係がつながる
典型例：
●「働きかけ主体」：「ごめんね」と「働きかけ」でかけた負担について謝罪する
「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：御礼をして受け入れられる

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ」を受けてくれたことに御礼する

「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「行動主体」

相互行為：断った場合、断りを言い訳したところ、受け入れられる

待遇効果：「働きかけ」を止めた負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：断った場合、断りの言い訳をする

「行動主体」：受け入れる

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：別れの挨拶をし合う

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：別れの挨拶をする

「行動主体」：受け入れる

「行動主体」：別れの挨拶をする

「働きかけ主体」：受け入れる

・「働きかけ－働きかけられ」に関する「待遇表現行為」

行為の開始：「働きかける主体」

相互行為：第三者の働きかけを伝聞したところ、受け入れられる

待遇効果：「行動」の負担が重くなる

典型例：

「働きかけ主体」：第三者の働きかけを伝聞する

「行動主体」：承諾する

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：今回の自分の働きかけを、他の人にも伝聞してほしいと依頼したところ、受け入れられる

待遇効果：「行動」の負担が重くなる

典型例：

「働きかけ主体」：今回の自分の働きかけを、他の人にも伝聞してほしいと依頼する

「行動主体」：承諾する